

1. スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実

(1) スポーツ参画人口の拡大

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	33年度目標
1 成人のスポーツ実施率(週1回以上) ※スポーツの実施状況等に関する世論調査(スポーツ庁)：毎年3月に前年11月調査の数値を発表	42.5% (H28)		65%
2 成人のスポーツ実施率(週1回以上)(障害者) ※障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究(H29年度スポーツ庁委託事業(笹川スポーツ財団))：H30年4月に平成29年度の数値を発表(今後は毎年の調査を検討)	19.2% (H27)		40%
3 成人のスポーツ実施率(週3回以上) ※スポーツの実施状況等に関する世論調査(スポーツ庁)：毎年3月に前年11月調査の数値を発表	19.7% (H28)		30%
4 成人のスポーツ実施率(週3回以上)(障害者) ※障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究(H29年度スポーツ庁委託事業(笹川スポーツ財団))：H30年4月に平成29年度の数値を発表(今後は毎年の調査を検討)	9.3% (H27)		20%
5 自主的にスポーツする時間を持ちたいと思う中学生の割合 ※全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)：毎年12月に7月時点の数値を発表	58.7% (H28)		80%
6 スポーツが「嫌い」「やや嫌い」である中学生の割合 ※全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)：毎年12月に7月時点の数値を発表	16.4% (H28)		8%
7 子供の体力水準 ※昭和60年の水準を50としたときの値 ※体力・運動能力調査(スポーツ庁)：毎年10月に前年度時点の数値を発表	47.3 (H27)		50
8 成人のスポーツ未実施者(1年間に一度もスポーツをしない者) ※スポーツの実施状況等に関する世論調査(スポーツ庁)：毎年3月に前年11月調査の数値を発表	32.9% (H27)	32.5% (H28)	0%に近づける

(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	33年度目標
1 障害者スポーツ指導者数 ※日本障がい者スポーツ協会調べ：毎年1月に前年12月時点の数値を発表	2.2万人 (H27)	23153人 (H28)	3万人
2 総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度を整備している都道府県数 ※登録・認証制度の整備後に調査を実施。	0都道府県 (H28)		47都道府県
3 中間支援組織を整備している都道府県数 ※中間支援組織の整備後に調査を実施。	0都道府県 (H28)		47都道府県
4 PDCAサイクルにより運営の改善等を図る総合型地域スポーツクラブの割合 ※総合型地域スポーツクラブに関する実態調査(スポーツ庁)：毎年2月に前年7月現在の調査数値を発表	37.9% (H27)	36.4% (H28)	70%
5 地域課題解決に向けた取組を行っている総合型地域スポーツクラブの割合 ※総合型地域スポーツクラブに関する実態調査(スポーツ庁)：毎年2月に前年7月現在の調査数値を発表	18.4% (H27)	23.3% (H28)	25%
6 大学スポーツアドミニストレータを配する大学数 ※大学スポーツの振興に関する実態調査(スポーツ庁調べ)(平成29年度調査予定、結果は年度末)(今後は毎年の調査を検討)	—		100大学

2. スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

(1) スポーツを通じた共生社会等の実現

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	33年度目標
1 障害者(成人)のスポーツ実施率(週1回以上) ※障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究(H29年度スポーツ庁委託事業(笹川スポーツ財団))：H30年4月に平成29年度の数値を発表(今後は毎年の調査を検討)	19.2% (H27)		40%
2 障害者(7～19歳)のスポーツ実施率(週1回以上) ※障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究(H29年度スポーツ庁委託事業(笹川スポーツ財団))：H30年4月に平成29年度の数値を発表(今後は毎年の調査を検討)	31.5% (H27)		50%
3 障害者が参加する総合型地域スポーツクラブの割合 ※総合型地域スポーツクラブに関する実態調査(スポーツ庁)：毎年2月に前年7月現在の調査数値を発表(今後は毎年の調査を検討)	42.9% (H24)		50%

4 障害者スポーツ指導者数 ※日本障がい者スポーツ協会調べ：毎年1月に前年12月時点の数値を発表	2.2万人 (H27)	23153人 (H28)	3万人
5 活動する場がない障害者スポーツ指導者の割合 ※日本障がい者スポーツ協会調べ（指導員活動調査）：H29年度調査実施予定（5年に1度の調査）：H30年4月に数値を発表（今後毎年調査してもらえるか調整）	13.7% (H24)		7%
6 障害者スポーツの直接観戦経験者の割合 ※調査方法は現在検討中（H29年度において調査実施の予定なし）	4.7% (H26)		20%

## (2) スポーツを通じた経済・地域の活性化

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	32年度目標	37年度目標
1 スポーツ市場規模 ※スポーツ産業市場規模調査（株式会社日本政策投資銀行）（次回の調査は検討中）	5.5兆円 (H24)		10兆円	15兆円

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	33年度目標
2 スポーツ目的の訪日外国人旅行者数 ※ 訪日外国人旅行者数（日本政府観光局公表）に、「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）における「今回の日本滞在中にしたこと（複数回答）」のうち「その他スポーツ（ゴルフ等）」、「スキー・スノーボード」、「スポーツ観戦（相撲・サッカーなど）」の選択率を乗じて算出。（毎年4月に前年数値を発表）	約138万人 (H27)	約150万人 (H28)	250万人
3 スポーツツーリズム関連消費額 ※ 「旅行・観光消費動向調査」（観光庁）における旅行消費額のうち、観光・レクリエーション目的の旅行における「スポーツ施設」、「スキー場リフト代」、「スポーツ観戦・芸術鑑賞」に係る消費額を合計して算出。（毎年5月に前年数値を発表）	約2204億円 (H27)	約2542億円 (H28)	3800億円
4 地域スポーツコミッションの設置数 ※スポーツ庁独自調査（2017年1月時点）	56か所 (H28)		170か所
5 IOC、IPC、国際競技団体等の国際機関における日本人役員数	25人 (H28)	28人 (H29)	35人
6 Sport for Tomorrowプログラム事業実施による裨益国・者数 ※委託事業先の調査（日本スポーツ振興センター）：前年度の数値を翌年度当初に速報値、6～7月に確定値を発表	—	193か国 3483772人 (H28)	100か国 1000万人

## 3. 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	32年度目標
1 オリンピック競技大会における金メダル数	夏季12個 (H28)	—	夏季17個
2 パラリンピック競技大会における金メダル数	夏季0個 (H28)	—	夏季18個

## 4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

数値目標	計画策定時 (年度)	最新の数値 (年度)	33年度目標
1 スポーツに関する紛争解決の仕組みが整備されているスポーツ団体の割合 ※スポーツ仲裁自動応諾条項の採択状況（日本スポーツ仲裁機構）：毎年公表（時期は様々、28年度は1月16日にその時点の数値を発表、次回は秋頃発表予定）	45% (H28.10)	46.1% (H29.1)	100%